

政策5 【住民協働・支援領域】 みんなの力で、自然を守り、安全で住みよいまちをつくります

担当部 住民環境部

政策が実現できたときの状態

- 強い絆で結ばれた地域コミュニティができ、豊かな自然と共生するまちづくりを目指して、自主的にそして協働して課題解決に取り組む状態を目指しています。
【みんな（地域で生活する人、地域で活動する団体すべて）が、自らの役割を理解し、話し合いながら活動していくことで、何よりも強い“みんなの力”になるものと考えます。】
- 現在の秀峰岩手山を中心とする大自然と田園風景など素晴らしい居住環境が維持できていること。
 - 滝沢村で生活する人すべてが、貴重な自然から有形無形の恩恵をたくさん受けているという明確な意識を持ち続けること。そして未来に引き継いでいくという確かな意識を持ち続けること。この意識を持って良好な環境の保全と創造への様々な取り組みが行われていること。
 - みんなが「自分たちの地域は自分たちで守る」という安全に対する意識を持ち“みんなの力”で安全なまちづくり、住みよいまちづくりを目指した活動が有り続けること。

平成 25 年度の重点課題

- 市制移行に係るさらなる機運の醸成を図ります。
- 交流拠点複合施設建設の具体化を進めます。
- 原発放射線に係る住民の安全安心のための情報提供に努めます。
- 災害時への対応（情報伝達など初動期の取り組みから復旧まで）の習熟を進めます。
- ごみ減量化の推進とともに、一般廃棄物処理（処理、リサイクル、最終処分）の統一化の方向性を見出します。

政策の達成（実現）に向けた今後3ヵ年の取り組みと方針

- 「地域は、地域の人々でつくる」という総合計画の基本的な考え方を基に、住民自らによる地域活動の活発化に繋がるよう、地域経営の視点で政策実現へ向け取り組みます。
- 地域コミュニティの強化し、地域の活動がより充実するよう、協働の視点で支援します。
 - 交流拠点複合施設を核にしたエリアの具現化を進めます。
 - 災害からの復興を支援を継続します。
 - 総合防災組織である自主防災連絡会が立ち上がりました。今後自主防災組織設の未設置自治会の解消を早急に進めます。
 - 一般廃棄物処理施設（清掃センター、リサイクル施設、最終処分場）の一体的運営を推進します。
 - 一部事務組合（ごみ：環境組合、し尿：衛生処理組合）との連携により環境行政を推進します。

政策目標値の達成状況

